

2019年2月28日

Seapath をご利用の皆様

2019年4月7日に2度目の「GPS 週数ロールオーバー」を迎える件について

日本海洋株式会社

GPS では「GPS 時」と呼ばれる独自の時刻体系が使われています。GPS 時は UTC (協定世界時) 1980年1月6日午前0時(日本時間の午前9時)を起点として、現在の時刻を、起点から〇週目の〇秒目という具合に「週」と「秒」だけで表現する点が特徴であり、値が増えていくと1024週目にゼロに戻ります。この現象は「GPS 週数ロールオーバー」と呼ばれています。

参考情報：みちびき(準天頂衛星システム)ウェブサイト [http://qzss.go.jp/column/gps-rollover\\_190225.html](http://qzss.go.jp/column/gps-rollover_190225.html)

2019年4月7日には1999年に続いて2度目のGPS 週数ロールオーバーを迎えるのですが、当社で取り扱っております Kongsberg Seatex 社製”Seapath”は、既に製造を終了している機器を含め、下記のとおり対応済みですので、そのままお使い頂くことが可能です。ただし、製造終了機器は部品保守を終了しておりますので、修理不可もしくは修理に時間を要する場合がございますので、お早めにアップグレードをご検討下さいませ。

Seapath 20	製造終了	GPS 週数ロールオーバー対応済み
Seapath 200	製造終了	Firmware 更新にて GPS 週数ロールオーバー対応 (所有されている全てのユーザー様へのご案内ご対応は完了しています)
Seapath 300	製造終了	GPS 週数ロールオーバー対応済み
Seapath 330	製造終了	GPS 週数ロールオーバー対応済み
Seapath 130	販売中	GPS 週数ロールオーバー対応済み
Seapath 320	販売中	GPS 週数ロールオーバー対応済み
Seapath 380	販売中	GPS 週数ロールオーバー対応済み

なお、Seapath130/320/380 の最新機種では、みちびき(準天頂衛星システム：QZSS)が送信するL1S 信号を受信した「サブメータ級測位補強サービス」に対応しております。

#### 関連情報

下記に関する情報は当社ウェブサイト「[Seapath をご利用の皆様へ -Differential GPS 等の補正情報に関する動向-](#)」をご確認下さい。

1. 2019年3月 海上保安庁のDGPSビーコン終了
2. 2020年3月(予定) 国土交通省の運輸多目的衛星(MTSAT)によるSBAS 終了

以上